

上下水道施設の災害への備え

那覇新都心公園の災害整備

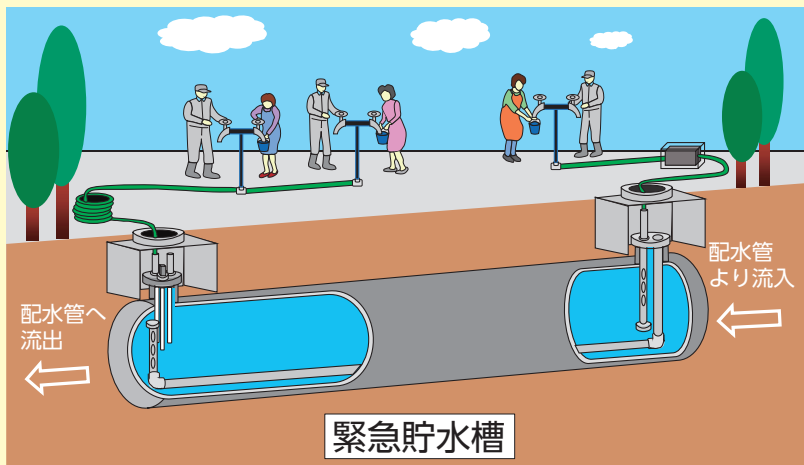
上下水道局では、地震などの大規模災害に備え、災害時に多くの人々が避難する広域避難所に指定されている那覇新都心公園に、マンホールトイレと緊急貯水槽を整備しています。



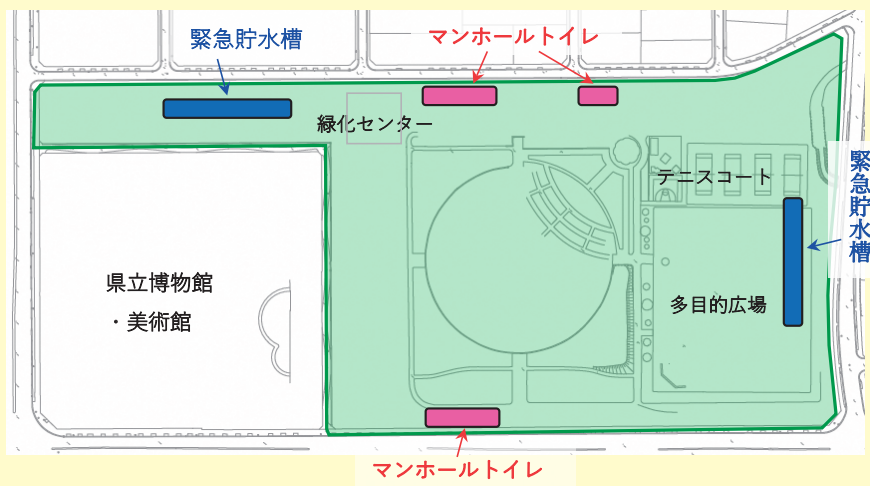
【緊急貯水槽】

日頃は水道管の一部となっている緊急貯水槽ですが、地震等により水道管が被害を受けた場合は、バルブが自動的に閉まり、応急給水用の水を蓄えます。その時は貯水槽内の水圧が無くなりますので、ポンプで水を汲み上げて応急給水を行います。

位置 新都心公園サッカーグラウンドと大通り側遊歩道
容量 200m³の貯水槽を2基設置(合計400m³)



【お問い合わせ】 水道管理課
TEL:941-7805 FAX:941-7825



【マンホールトイレ】

那覇新都心公園に整備されているマンホールトイレは、いったん貯めることが可能な造りとなっており、災害時に下水道本管が破損しても使用が可能です。災害時にはマンホールの蓋を開けてその上に仮設トイレとテントを設置して使います。

設置数 30基



【お問い合わせ】 下水道課
TEL:941-7808 FAX:941-7828

水道施設の耐震化の状況

(地震に強い水道施設へ)

上下水道局が管理する水道施設の耐震化について、口径300mm以上の主要な管(基幹管路)約120kmのうち、**約75km**は耐震性を有しており、耐震適合率^{*}は**62.9%**(全国平均42.3%)となっております。国が掲げている令和10年度末における基幹管路耐震適合率の目標値60%を上回っている状況です。

また、7カ所ある配水池の耐震化率は**91.3%**(全国平均63.5%)、3カ所あるポンプ場の耐震化率は**100%**となっており、耐震化の進捗は全国平均より進んでいる状況です。今後も引き続き水道施設の耐震化を進めてまいります。また、令和元年度から豊見城配水池建設事業に着手しており、完成すると配水池の耐震化率100%が達成されます。(数値は令和5年3月末の値です)

^{*}耐震適合性のある管が布設された管路の割合です。耐震適合性のある管とは、耐震管や耐震管以外の管路で良い地盤に布設されていて耐震性があると評価された管のことです。

【お問い合わせ】 水道工務課
TEL:941-7807 FAX:941-7827

下水道施設の耐震化の状況

(地震に強い下水道施設へ)

下水道施設(汚水)は生活排水や事業所排水を処理場で綺麗にすることにより、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に資する、欠かすことのできない施設です。

現在整備された下水道管の中には、老朽化が進行するとともに耐震性が不十分な箇所があります。そこで、大地震の際にも安心して下水道を使えるように、緊急性が高い重要な下水道管(幹線)から老朽管の更新やマンホールの耐震化等を進めています。

上下水道局が管理する下水道施設(汚水管)の耐震化について、重要な下水道管**約120km**のうち、**約93km**は耐震性を有しており、令和6年3月末時点における耐震化率は**約78%**となっております。国が耐震化率の中長期目標として示す、耐震化率約64%を上回っている状況です。

【お問い合わせ】 下水道課
TEL:941-7808 FAX:941-7828

